

# 決算特別委員会

## 一般会計決算などに活発な議論

決算特別委員会は、9月10日から12日まで町中央コミュニティセンターで開かれました。特別委員長には、生駒利治副議長を選出。3日間にわたり一般会計や介護保険特別会計など9会計の平成18年度決算を審議しました。ここではその審議の概要をお伝えします。

### 総括質疑



定員適正化計画では、平成22年度までに職員数を195人とする計画です（町役場）

### 定員適正化計画の更なる推進を

**問** 定員適正化計画を進め、職員を削減せよ。

**総務課** 平成22年度までに195人とする計画であるが、現時点では計画より進んでいる。役場の仕事は増えており、今後の情勢が不透明な部分もあり難しい。**問** 仕事をするのは職員であり、削減には抵抗を感じる。適時に職員を採用し、適正な職員数を維持すべきでは。

**総務課** 50歳以上の職員が、100人以上いる。ここ10年は毎年10人前後の退職が見込まれている。職員

採用は計画に基づき進める。**問** 管理職がここ2年で11人退職する。幹部職員の養成は。

**副町長** 研修にできるだけ参加させている。全体的なバランスを見て、能力主義も取り入れ行政サービスが低下しないよう配慮する。

### 都市公園区域の工場操業担当課長の処分は適正か

**問** 都市公園地内の企業操業問題での担当課長の処分は文書訓告でよかったか。

**総務課** マリンパーク閉園時に財産区分の判断ミスがあった。文書訓告は、適正な処分であると思っている。

### 保育料の未納対策どのように進めるか

**問** 全国的に問題となっている保育料の未納対策をどのように進めていくか。

**保健福祉課** 自己破産、リストラなどの急激な生活変化により滞納は毎年増えている。未納対策は10月に設置される「町税・使用料等歳入確保対策委員会」の中で検討していく。

### 少子化対策をどう進めるか

**問** 少子化対策をどのようにして進めるのか。子供を産める環境整備を。